

新しい八女で活躍する人



ロンドンパラリンピック
ゴールボール金メダリスト
安達阿記子さん

Photo by ICHIKAWARYO/studioAFTERMODE

八女市民栄誉賞 第1号! 団体競技史上初の金メダルを獲得



Photo by ICHIKAWARYO/studioAFTERMODE

Photo by ICHIKAWARYO/studioAFTERMODE

Photo by ICHIKAWARYO/studioAFTERMODE

Photo by ICHIKAWARYO/studioAFTERMODE

八女市出身の安達阿記子選手が所属するゴールボールの日本チームが、「2012ロンドンパラリンピック」で団体競技史上初の金メダルを獲得しました。安達選手は、平成19(2007)年に全日本のメンバーに入り、翌20(2008)年の北京オリンピックに出場。2度目のオリンピックで栄冠を手に入れました。

「信じていれば、夢は必ずかなう」。安達選手の金メダルは、豪雨災害を受けた八女市の人たちに希望を与え、「八女市民栄誉賞」の第1号に選ばれました。安達選手は今、パラリンピック史上初の団体競技連覇を目指して、海外遠征など忙しい日々を送っています。

Interview

「人には無限の可能性があり、夢は必ず叶う」



中学2年で視覚障害になった私は、20歳を過ぎてゴールボールに出会うまでスポーツから離れていました。視覚障害の度合いはさまざまなので、ゴールボールでは条件を平等にするためアイシェードをつけます。最初は真っ暗の状態に恐怖心を憶えましたが、ボールを追いかけているうちに初めてスポーツを真剣に行う爽快感を得ることができたのです。

コーチや先輩方に恵まれて、目標を叶えていく喜びを知り、北京オリンピックにも出場できたのですが、結果は惨敗。その時感じたのは、全員の思いが一つになるこ

との大切さでした。それから、金メダルを獲りたいと心の中で願うだけでなく、練習中も合言葉のように口に出し、常に自分たちの目標を確認し続けました。

八女の方たちには、最初に世界大会に出た時から、さまざまな支援をいただけてきました。パラリンピックの前哨戦の最中に八女市で水害があったことを知り、良いニュースを報告し、少しでも八女の人たちに元気になってもらいたいと思い、決勝に臨みました。そして、すべきことをやり遂げ、結果を出すことができました。

八女に帰って、皆さんからいただいた、「おめでとう」「ありがとう」の言葉に、すごく勇気づけられました。「人には無限の可能性があり、夢は必ず叶う」。この思いを胸に、再び世界の頂点を目指していきます。

地域おこしに活躍

おいしい直販・やさしい交流・たのしい体験
直売所日本一に輝いた「道の駅たちばな」



「道の駅たちばな」は、平成17(2005)年、地元生産者が育てた野菜や果物、米を、一番おいしい時に味わってもらおう直売所としてスタート。竹の子、イチゴ、梅、みかん、キウイなど、旬の味覚が並び、温かな交流のある直売所として、たくさんの人が訪れます。平成23(2011)年には、地域の生産者をまきこんで生き生きと運営していることが評価され「直売所甲子園2011」(全国直売所研究会主催)で、最優秀賞にあたる農林水産大臣賞を受賞。全国からの視察も増え、交流拠点としての役割を強めるとともに、カーボン・オフセット認証の取得など、新たな取り組みも進めています。

Interview

「道の駅から、八女市の応援団を増やしていきたい」 総務企画課長 森久栄さん



地元の人、物、伝統の力がすべて結集して「道の駅たちばな」が誕生しました。立花町には、豊富な食材とそのおいしさを引き出す料理法や保存法が伝えられており、何より

おもてなしの心があります。500人ほどの生産者によってスタートした直売所が、徐々にステップアップし、日本一の評価を得ることができました。若いスタッフが増え、地元の小・中学生の体験学習の場にもなっています。地元のおいしいものや元気な人たちを知れば、進学や就職であるさとを離れても、いつかは帰ってこようと

思うのではないのでしょうか。

水害の際も、「私たちは八女のおいしいもので元気になったので、今度は八女の人たちを元気にしたい」と、市外の方からたくさん支援をいただきました。これからも地元の魅力を再発見し、市内外に「道の駅たちばな」と八女市の応援団を増やしていきたいですね。

個人の技術や夢を、地域活性化につなげる
星野村女性林研あいりん会 代表 西田裕子さん



西田さんは、森林インストラクターの資格も取得しました。「木の名前を調べながら池の山キャンプ場の周辺を散策するなど、山を傷つけたり、汚したりしないレクリエーションのかたちを考えていきたいです」。山を楽しむ人と守る人の橋渡しが、西田さんのこれからの目標です。

